



いまい 勝 今井まさる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

放課後児童クラブ

運営へ国の財政支援を

県に働きかけ求める

人に優しいふるさとづくりに全力を傾けている今井勝県議(我孫子市選出、2期)は12月県議会で一般質問を行い、森田知事ら県執行部に県の方針や施策を尋ねました。放課後児童クラブについて、国が示した基

準に沿うと運営が難しくなるとして、国へ財源確保の呼びかけを要望、また、待機高齢者の解消へ、特別養護老人ホームの整備促進を求めました。今井県議の質疑と県担当者の答弁を特集します。

新制度、クラブ運営圧迫

今井議員 子ども・子育て支援新制度による放課後児童健全育成事業、いわゆる放課後児童クラブの基準が国から示された。これまで放課後児童クラブは各地域で柔軟な対応をしてきたため、定員を超えてもより多くの児童を受け入れることができた。

しかし、今回提示された基準では「概ね40人」を1支援単位とし、1支援単位につき放課後児童支援員を2名以上配置し、うち1名以上は有資格者としなければいけなくなった。

近年、放課後児童支援員のよう有資格者のスタッフの確保には、どこの市町村も苦慮しており、今後、支援単位によるクラブの増設が進む中、運営するための支援員を確保することはさらに難しい状況だ。

支援員が確保できないとなると、クラス分けをすることはできなくなり、40人以上の児童を受け入れられなくなる。その結果、待機児童が発生することにもなる。

そこで、課題になるのは新制度への財政支援の確保。有資格者である支援員の増

員は、市町村にとっても人件費の純増になり、各市町村とも厳しい財政状況の中、さらに財政を圧迫し、放課後児童クラブを運営していくこと自体が難しくなることも予想される。

消費税10%への増税が先送りされる中、その財源確保がさらに厳しい状況となっているが、子どもたちの育ちを支援する新制度の社会の期待は大きく、裏づけとなる財源の確保は重要になる。

そこでうかがうが、子ども・子育て支援新制度の実施に必要な財源の確保に向け、県として国に働きかけるべきと思うがどうか。健康福祉部長 子ども・子育て支援新制度では、県及び市町村が、地域の二



本会議で一般質問を行う今井勝県議

12月県議会一般質問

今井まさる・PROFILE

略歴

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日体高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選(2期連続当選)

現職

- 県議会 文教常任委員会副委員長
- 自民党 総務会常任総務
- 自民党県連 組織本部委員
- 議員連盟 私学振興、動物愛護、商工、靖国神社、地域医療、幼児教育、保育所、医療、調理師、宅地建物等、介護、防衛、資源リサイクル、看護、八ツ場ダム、カジノ、環境保全

すべての県内被災地をルートに

聖火リレー

今井議員 東京オリンピックの開催を、私は県民が連帯感を持ち、東日本大震災から復興し、生まれ変わるきっかけとして、被災地の復興を後押しするような展開も一つのテーマに位置づけるべきではないかと考える。

県内被災地の復興を後押しするため、被災地すべてが聖火リレーのルートとなるよう、関係機関に積極的に要請すべきでは

ないか。知事 聖火リレーは、走者と観客など多くの国民が一体となって、東京オリンピック・パラリンピックに参加できる貴重な機会であり、コースとなる地域の人々にとって、忘れられない記憶として刻まれるものと思います。本県の被災地が聖火リレーのコースとして選ばれることになれば、復興した姿を世界に示せる絶好の機会となります。

そのため、県としても、組織委員会等の動きを注視しつつ、聖火リレーを含め、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、全力で取り組みます。

ズを反映し、放課後児童クラブを含む各種施策を推進することとされており、そのための財源の確保は重要な課題となっています。県では、新制度の円滑な実施に向けた財源の確保に

ついて、これまでも、全国知事会等を通じ、国に対して要望してまいりました。県としては、引き続き機会を捉えて、必要な財源確保について、国へ要望してまいります。

●県政や我孫子のご相談、ご意見を聞かせてください

今井まさる 事務所 〒270-1138 我孫子市下ケ戸1825 TEL.04-7181-7181 FAX.04-7181-7187

千葉県の入所待機者数、全国8番目

特養の整備促進必要



議場の自席で発言する今井勝県議

される千葉県の高齢化の速度に特別養護老人ホームの整備が追いついていないのが実情だ。現在、特別養護老人ホームへの入所を待ち望んでいる高齢者の方や、今後とも増加するであろう入所待機者の解消に向けて、大変厳しい財政状況ではあるが、引き続き整備事業者への手厚い支援を継続し、特別養護老人ホームの整備促進を図っていくことが必要だと考

養護老人ホームの入所待機者が平成26年7月1日時点で1万9000人を超えている。国は各都道府県において各々の基準により集計しているため、都道府県間の単純な比較はできないとしているが、千葉県は全国で8番目に多い入居待

1万9000人、入所待ち

機者となっている。

特別養護老人ホームへの入所待機者が全国で約52万4000人にのぼるとの集計結果を公表した。前回調査の平成21年度から4年間で約10万人、24%増えた計算になる。千葉県においても、特別

このような状況にある中、千葉県では三位一体改革により一般財源化され、県単独で実施している老人福祉施設整備費補助金について、施設整備を行う事業者への補助金単価を1床当たり、これまでの253万円から

都市整備局長 指定廃棄物となつている下水道汚泥焼却灰は、放射性物質汚染対処特措法や国のガイドラインに基づき、十分な安全対策を講じ、仮設倉庫や建屋内に保管しております。

県では、仮設倉庫内に保管している焼却灰約380トンにつきまして、飛散・流出に対する安全性の向上を図るため、今年度、保管容器の二重化や、開口部を密閉する措置を実施しており、今月中に完了する予定となつております。

今後、建屋内に保管している焼却灰約170トンについても同様の措置を講じ、安全性の向上を図り、場内

手賀沼終末処理場の下水道汚泥焼却灰 安全確保へ保管容器二重化

今井議員 手賀沼終末処理場の下水道汚泥焼却灰の一時保管における安全確保の現状をうかがう。また、今後の対策はどのように取り組んでいくのか。

都市整備局長 指定廃棄物となつている下水道汚泥焼却灰は、放射性物質汚染対処特措法や国のガイドラインに基づき、十分な安全対策を講じ、仮設倉庫や建屋内に保管しております。

県では、仮設倉庫内に保管している焼却灰約380トンにつきまして、飛散・流出に対する安全性の向上を図るため、今年度、保管容器の二重化や、開口部を密閉する措置を実施しており、今月中に完了する予定となつております。

今後、建屋内に保管している焼却灰約170トンについても同様の措置を講じ、安全性の向上を図り、場内

に完了するよう要望する。

えらうか。

知事 急速に高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、特別養護老人ホームの整備を進めていくことは大変重要であると認識しています。

県では、入所待機者の急増に対応するため、平成21年度から、1床当たりの補助単価を全国トップクラスの400万円として、積極的に整備を進め、現在までに、約6300床が開所に、一定の成果を上げてきたものと考えております。

今後とも、入所待機者数の動向や整備の進捗状況などを踏まえつつ、入所が必要な方が、一人でも多く特別養護老人ホームを利用できるように、引き続き整備促進に取り組んでまいります。

手賀川・手賀沼

水位情報周知河川 早期指定を目指す

今井議員 治水対策についてうかがう。水防法に基づき、手賀川・手賀沼の水位情報周知河川への指定に向けた取組状況はどうか。

県土整備部長 水位情報周知河川は、洪水被害の軽減を図るため、特に警戒すべき水位として特別警戒水位を設定し、市町村長が避難勧告等を円滑に発令できるように指定するものです。

国が管理する手賀川については、国土交通大臣が

県が管理する手賀沼に関しては、知事がそれぞれ指定することとなることから、国と県が連携して、浸水想定区域や水位などの設定を行うこととしております。

昨年より指定作業に着手しております。本年10月には、国及び周辺自治体と調査や解析手法について合意したところであり、現在、国と共同で詳細な解析作業を進めております。

引き続き、早期の指定に向けて、取り組んでまいります。

この浸水被害を受け、湖岸堤防の整備計画の見直しを行い、若松地区1・1キロメートル区間の早期完成を図ることとし、今年度から本格的に事業化しております。

既に、軟弱地盤の地盤改良に着手しており、平成29年度末までには築堤が完成するよう事業を進めてまいります。

今井議員 若松地区における手賀沼湖岸堤防の整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 昨年の台風26号の影響により、若松地区においては、浸水被害が生じたところです。

この浸水被害を受け、湖岸堤防の整備計画の見直しを行い、若松地区1・1キロメートル区間の早期完成を図ることとし、今年度から本格的に事業化しております。

既に、軟弱地盤の地盤改良に着手しており、平成29年度末までには築堤が完成するよう事業を進めてまいります。

光化学スモッグ注意報

我孫子市単独で発令を

今井議員 光化学スモッグ注意報の発令地域について、我孫子市を印西地域から分離し、単独で新たに「我孫子地域」を作るべきと考

えるかどうか。

環境生活部長 光化学スモッグ注意報の発令に関する地域区分は、光化学スモッグの発生状況、発生源の立地状況、気象条件を総合的に勘案し、県内を12地域に区分しているところです。

これらの地域区分については、大気環境データの推移により、必要に応じて見直

しを行っており、現時点における我孫子市の環境データは、印西地域内の他市町と比べて、大きく異なる状況にはないものと考えています。

今後、注意深くデータを監視しながら、適切な発令地域の区分について検討してまいります。

今井議員 我孫子市は、行政区画上は東葛地域に含まれることを考慮し、発令地域としても東葛地域とする可能性を含め、総合的に検討していただきたい。

湖北小入りの交差点

感応式信号機を設置

今井議員 湖北小学校入り口交差点において、市側の市道拡幅に併せて感応式信号機設置が必要と考

えるかどうか。

警察本部長 同所は、国道356号と市道が交差する十字路交差点で、現在は押しボタン式信号機を設置しておりますが、道路管理者による市道の拡幅や交差点改良が行われる予定であることから、道路管理者と連携しまして、工事の進捗状況を見ながら、速やかに感応式信号機への改良を行うことを予定しております。

既に、軟弱地盤の地盤改良に着手しており、平成29年度末までには築堤が完成するよう事業を進めてまいります。

既に、軟弱地盤の地盤改良に着手しており、平成29年度末までには築堤が完成するよう事業を進めてまいります。

既に、軟弱地盤の地盤改良に着手しており、平成29年度末までには築堤が完成するよう事業を進めてまいります。